

令和5年(2023年)6月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2023年6月 数量 (トン)	2023年6月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	千葉県産・青森県産・北海道産が中心の入荷でした。不作の前年に比べて数量はかなり増加し、平均単価はやや低く推移しました。	430	160	124%	91%
2		キャベツ	千葉県産・茨城県産・群馬県産が中心の入荷でした。全体的に2週間前後の全身出荷となり、数量は平年並みで平均単価についてはやや高く推移しました。	975	104	102%	118%
3		トマト	数量はやや減少し、平均単価については低く推移しました。	383	281	89%	83%
4		レタス	長野県産中心の入荷でした。入荷量はやや増加し、平均単価はやや低く推移しました。	520	157	104%	91%
5		たまねぎ	香川県産・佐賀県産・兵庫県産中心の入荷でした。入荷量はかなり増加しましたが、前年の高値と比べ平均単価は大幅に低く推移しました。	570	100	131%	44%
6	果実	もも	降雨の影響で品質が安定せず、入荷量はやや増加しました。平均単価は平年並みに推移しました。	68	798	108%	98%
7		メロン	茨城県産が中心の入荷でした。数量は増加したものの平均単価は低く推移しました。	375	398	116%	85%
8		桜桃	山形県産・秋田県産の入荷でした。数量はかなり増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	54	2,061	129%	93%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上